



第31号
 発行者
 いしづち森林組合
 TEL 0897-56-0180
 FAX 0897-56-8818

組合員数 2,584人
 出資金 275,240,000円
 令和5年5月31日現在

新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます
 組合員の皆様におかれましては、
 ご健康でよき新春をお迎えのこと
 と喜び申し上げます。

平素より当組合に対し格別のご
 理解、ご協力を賜り厚く御礼中し
 上げます。

国内では昨年5月より新型コロナ
 ナウイルス感染症が5類に移行さ
 れ、長く続いた行動制限が解かれ
 ました。また異常気象により夏の
 最高気温は更新され、その猛暑は秋
 の後半まで続くことになりました。

国外ではロシアの国際社会から
 逸脱した行動によるウクライナ侵
 攻は、未だ終局を見ることのでき
 ません。

それに加えて地球温暖化・円安・流通・輸出入・人材不足等の要因が影響
 を及ぼし、生活物資や業務物資の価格が高騰し続けました。経済の再生も生
 活の豊かさも、肌で感じる事ができない一年となりました。

その結果でしょうか、昨年の漢字は「税」
 人それぞれとらえ方はあるかと思いますが、様々な名目で税金を徴収され手
 取り額が減っていくという不安からこの漢字になったのではないかと思います。

さて、当組合及び林業界の昨年の動きと本年の予定については次の通りです。
 ア、中間決算の状況

1 事業進捗及び経営状況

基本は、資源循環型の施策を目指し各種事業を展開してまいります。
 ただし素材生産については計画達成に至っていませんが、後半に期
 待することになります。経営的には前年より減となっておりますが、
 安定経営を目指し頑張っております。

その他事業関係では、作業の効率化や精度向上の為にICT等の導
 入で、徐々にではありますが、整備を進めています。

2 人材の確保・育成状況

技能職員については、今春の新規採用で1名確保しております。
 人材の確保・育成が難しい時代ですが、中途採用を含め色々な機
 関へ情報(当組合の魅力等)を発信するなど、人材を確保するべく
 実施しています。

イ、全国的な系統組織の動き

森林組合系統では、令和5年10月下旬に全国森林組合代表者大会が東
 京都内で開催されました。その内容や課題として、
 ○戦後造林した人工林は本格的な利用期を迎えているが、主伐・再造林の

循環利用は未だ確立されず、また間伐等の適切な森林整備が実施されて
 いない箇所も散見しておりカーボンニュートラルの実現に資する、地球
 温暖化防止・国土保全等森林の有する重要な機能発揮に一層取り組む必
 要がある。

○近年多発している集中豪雨や地震等の自然災害により、大規模な山腹崩
 壊や道路寸断に伴う集落の孤立・風倒木によるインフララインへの二次
 的被害が発生していることを踏まえて、災害に強い健全な「緑の国土強
 靱化」を強力に推進していかねばならない。

○国産材のシェア拡大を図り、持続的かつ安定的な供給体制の構築を目指
 し、豊かな森林資源を活用した林業経営や林業従事者の所得向上で、山
 村地域の活性化・森林・林業・木材産業によるグリーン成長を実現して
 いくことが不可欠である。

○令和元年度から譲渡されている森林環境譲与税については、各地域にお
 いて森林整備等への活用がなされているが、所有者不明地や境界未確定
 森林の存在等の課題があり、想像以上の経費が発生している状況である。
 こうした課題を解決するため森林環境譲与税の譲与基準を見直し、人工
 林が存する箇所が多い等、森林整備の需要が高い市町村への重点的な配
 分が必要である。

等々組合系統は、これまでの諸制度の改正や森林・林業基本計画の見
 直し等を踏まえ、一昨年の全国森林組合代表者大会にて、地域森林の適
 切な利用及び保全と林業経営のさらなる発展に向けて、新たな系統運動
 方針「J Forestビジョン2030」を策定しました。

引き続き全国150万人の組合員が一体となり、森林の公益的機能の確
 保と地域創生が推進されるよう、関係団体と緊密に連携し、「新たな花
 粉症対策の発展と森林・林業・木材産業によるグリーン成長」を軸に森
 林資源の循環利用と適切な管理の推進、人材の確保・育成と林業労働安
 全、国産材利用促進、山村振興等に向け森林・林業の諸課題に取り組む
 決意をし、令和6年度林業政策・予算に関する要望6項目が以下のとお
 り全国で決議されました。

①カーボンニュートラル・国土強靱化に向けた森林整備・保全と適切な
 管理の推進

②人材の確保・育成と労働安全対策推進強化

③生産向上と需要拡大による国産材の供給・利用促進

④森林環境譲与税の譲与基準の見直し

⑤林業及び山村振興等に必要な林業税制の改正

⑥激甚な災害からの復旧・復興

現在、令和5年当初予算の116.4%となっており、予算は年々増
 加しています。

主な施策の内容は大きく分けて次の4つとなっています。

①新たな花粉症対策の展開と森林・林業・木材産業によるグリーン成長
 花粉削減・グリーン成長総合対策

新たな花粉症対策の展開

林業・木材産業の生産基盤強化

林業のデジタル化・イノベーションの推進

建築用木材供給・利用の強化

木材需要の創出・輸出力の強化

林業の担い手の育成・確保

「新しい林業」の経営モデルの構築

意欲と能力のある経営者
 への融資の円滑化
 山村の活性化
 ②森林整備事業
 ③治山事業
 ④農山漁村地域整備交付金
 ⑤、その他

本年は総代改選や役員改
 選の年です。
 総代の皆様には3年間お
 世話になり有難うございま
 した。近年総代定数を満た
 すのが大変厳しい状況とな
 っております。引き続き総代
 に就任頂きますと幸いに存
 じます。また、新しい人
 材・後継者の発掘にご尽力
 いただきますよう、重ねて
 お願い申し上げます。

最後に皆様のご健勝とご
 多幸をお祈りし、年頭のご
 挨拶とさせていただきます。



令和5年11月9日、職員旅行(姫路城)にて

代表理事組合長 伊藤 康雄

中間決算報告について

1. 貸借対照表

令和5年11月30日現在 (単位:円)

科目	借方	科目	貸方
流動資産	690,012,810	流動負債	134,133,695
固定資産	180,666,629	固定負債	17,514,200
外部出資	55,592,000	出資金	280,183,000
長期貸付金	0	剰余金積立金	477,549,013
その他資産	80,787	当期剰余金	16,972,318
計	926,352,226	計	926,352,226

2. 損益計算書

令和5年6月1日~令和5年11月30日 (単位:円)

区分	費用	収益	損益
指 導	100,000	100,000	0
販 売	7,329,354	7,110,184	△ 219,170
森 林 整 備	50,038,205	106,388,891	56,350,686
森 林 経 営 事 業	0	0	0
事 業 総 利 益			56,131,516
事 業 管 理 費			53,671,082
事 業 利 益			2,460,434
事 業 外 損 益			1,341,385
経 常 利 益			3,801,819
特 別 損 益			△ 1,809
税 引 前 当 期 純 利 益			3,800,010
前 期 繰 越 剰 余 金			13,172,308
当 期 未 処 分 剰 余 金			16,972,318